

日语作文竞赛 过去名作公开！～有志者事竟成

〔外国人技能实习生・研修生日语作文竞赛 2014 年最优秀奖〕

亲切的圈 (HA TIEN DUNG)

我在越南贫穷的乡下出生长大。父亲早亡，母亲身体虚弱。为了自己的家庭，为了越南的发展，我下了最大的决心来到日本。

2012年7月17日那天我来到了日本。这是改变我价值观的巨大转折点。

刚来到日本，看到了从未见过的高楼大厦，来往匆匆的行人，挤满乘客的电车，心中对之后在日本的生活充满了期待。但是，语言上的障碍以及难以有所进步的实习让我开始想家了。

就在这个时候，日本人的温暖拯救了我。

我经常去日语教室。那里作为志愿者教日语的老师抽出自己的时间，不仅仅是日语，还像对待自己的孩子那样教了我们日本的生活习惯。有一次，我问老师：“您为什么免费教外国人日语？”，老师只是报以微笑。然后对我说：“希望你努力学习，等日语学好了，也成为志愿者去教那些和你一样的人日语”。我非常感动只能一个劲地点头。

有一天，我在车站的厕所里捡到别人遗失的手机。想着丢手机的人肯定很着急于是马上把东西交到了站务室，并没有留下自己的联系方式。

第二天，向公司的前辈说起这件事，被说道：“DUNG真像日本人呢，为什么没有告知自己的联系方式呢”，这是我在日本学到的“日本的心”的自然流露。

在日本，经常可以看到在路上拾起垃圾的人，帮助迷路者的人，拾到物品上交的人。我深刻地学习到，不考虑自己的利益，帮助他人、做好事自己也会感到幸福。

3年的实习过得非常快，我在日本的技能实习马上就要结

日本語作文コンクール 過去の名作公開！～なせばなる

〔外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクール 2014年最優秀賞〕

親切の輪 (ハー ティエン ズン)

私はベトナムの貧しい田舎で生まれ育ちました。父は早くに亡くなり、母は病弱です。自分の家族のため、ベトナムの発展のために一大決心をして、日本に来ました。

2012年7月17日に日本へ入国しました。これが、私の価値観を変える大きな転機となりました。

日本に来た当初は、今まで見た事のない高層ビルや、忙しく行き交う人々、満員電車を見て、日本でのこれからの生活に期待に胸がふくらみました。しかし、言葉の壁やなかなか上達しない実習でホームシックになりました。

そんな時に、私を救ったのは日本人の温かさでした。

私は、日本語教室に通っています。そこでボランティアで日本語を教えてくださいの先生は、自分の時間を割き、日本語のみならず、日本の生活習慣について自分の子供のようには教えてくれました。ある時、「どうして日本語を外国人に無料で教えているのですか」と私が聞くと先生はただ微笑んでいるだけでした。そして、「一生懸命勉強して、日本語が上手になったら、あなたのような人に日本語をボランティアで教えてください」とおっしゃいました。私は、感動してただうなづく事しかできませんでした。

ある日、駅のトイレで携帯電話の落とし物を拾いました。誰かが困っているだろうとすぐに駅員室に届け、自分の連絡先を告げませんでした。

翌日、会社の先輩にその話をすると、「ズンさんは日本人みたいですね、どうして自分の連絡先を教えなかったのか」といわれましたが、それは私が日本で学んだ「日本の心」が自然と出たものでした。

束了。来到日本,我的生活方式和思维方式发生了很大的变化。不仅是在公司的技能实习,记着“有志者事竟成”这句话,我每天早起学习3个小时的日语。努力有了回报,我通过了日语能力考试2级。这是我来日本后第一次哭。

我现在有一个梦想。希望回到越南后,将在日本学到的亲切传播到祖国各地。

本期的《技能实习信息》中通知了第25届外国人技能实习生·研修生日语作文竞赛作品征集信息,此次这个版块介绍以往竞赛优秀作品。这篇作文讲述了从刚来日本的想家,但接触了“日本的心”后,最后怀抱梦想的过程,入选第23届最优秀奖之一。

诸位离开祖国在日本生活,想必每天都有很多感想和发现。在去年的竞赛颁奖仪式上,关于最优秀奖作品评审委员长讲评道:“关于在日本感受到的喜悦和发现,不就是用‘仅仅这一点无论如何也想传达’这种想法的强烈感带给读者更深的感动吗”。诸位可能觉得用日语写作文参加竞赛很困难,但请一定试着挑战下。如同这次介绍的作文那样,“有志者事竟成”,努力就一定会结出果实。

※作文是按照技能实习生所书写的日语刊载的。假名注解由编辑部添加。

《〈尝一尝! 做一做! 当季的味道〉休刊》

日本では、道でゴミ拾いをする人、道に迷った人を助ける人、落とし物を届ける人をよく見ます。自分の利益を考慮ののではなく他者に施す事、良い行いをする事で自分も幸せになれるという事を私は深く学びました。

私の3年の実習はあつと言う間で、日本での技能実習が間もなく終わろうとしています。日本に来て、私の生き方や考え方は大きく変わりました。会社での技能実習はもちろんのこと、「為せばなる」という言葉を胸に毎日早起きをして3時間日本語を勉強しました。その努力が実を結び、日本語能力試験2級に合格しました。私が日本に来て初めて泣いた時でした。

私はいま、夢があります。ベトナムへ帰国後、私は日本で学んだ親切の輪を祖国にも広げたいです。

今号の〈技能実習情報〉では、第25回外国人技能実習生・研修生日本語作文コンクールの作品募集をご案内していますので、今回のこのコーナーでは同コンクールの過去の優秀作品をご紹介します。来日当初はホームシックにかかったものの「日本的心」に触れ、最後には夢を持つまでになったというこの作品が、第23回の最優秀賞の1つに選ばれました。

皆さんも母国を離れ日本で生活しながら、日々感じたり気付いたりすることがたくさんあると思います。昨年のコンクール授賞式では、最優秀賞作品について審査委員長は「日本で感じた喜びや気付きについて『これだけはどうしても伝えたい』という思いの強さが、読者により深い感動を与えたのではないかと講評しました。皆さんが日本語で作文を書きコンクールに参加するというのは大変なことかもしれませんが、是非挑戦してみてください。今回ご紹介した作文のように「為せばなる」、そして努力はきっと実を結ぶでしょう。

※作文は技能実習生が書いた通りの日本語で掲載しています。

振り仮名は編集部で付けました。

《〈食べよう! 作ろう! 旬の味〉はお休みしました》